

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 カルルス温泉サンライバスキー場事業
-------------------	--------------------------------

区分	番号	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	1	魅力ある観光地づくり
小分類	1	ときめきと感動のある観光地づくり
主要な施策	1	地域の資源を活かした観光施設整備
事務事業番号	003	事務事業コード 31111003 事業開始年度 昭和 3 8 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	カルルス温泉スキー場事業特別会計	予算書上の事務事業名	カルルス温泉サンライバスキー場運営経費 等
------	------------------	------------	-----------------------

部 名	観光経済部	グループ名	観光室観光振興 G
-----	-------	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> スポーツレクリエーションの振興と冬季観光客の増加及びカルルス地区の活性化を図る。
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> 施設の適正な維持管理を行い、施設利用者の拡大を図る。 また、事業運営については(株)登別ゴルフ場に 5 年間業務委託（平成 2 3 年 5 月 1 日～平成 2 8 年 4 月 3 0 日）。 委託内容 スキーリフトの運行業務及び維持管理に関する業務、スキーリフト使用料等業務により生じる収入の収納等に関する事務、ゲレンデ、駐車場、照明塔の維持管理に関する業務、管理棟の維持管理に関する業務、食堂に関する業務、売店に関する業務、スキー用具等の貸し出しに関する業務、スキー講習に関する業務、レンタルルームに関する業務、コインロッカーに関する業務、自動販売機に関する業務、修学旅行の受入れに関する業務
成果	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> 修学旅行生や国外からの観光客の誘客に活用する。また、市内外からの利用者により、カルルス地区の活性化が図られる。 また、市民のウインタースポーツの振興の点では、市内小学校 2 校がスキー学習を始めた。
根拠法令等	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> 自然公園法、登別市カルルス温泉スキー場条例及び管理規則

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	輸送人員	人	目標値	311,400	343,010	352,390	358,050	362,220
			実績値	328,215	/	/	/	/
			目標値		/	/	/	/
			実績値		/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度	
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円					0	
	道支出金	名称	千円					0	
	地方債	名称	千円					0	
	その他	名称	千円	81,441	82,605	82,795	82,530	84,434	249,759
	一般財源	名称	千円	31,778	29,095	38,205	24,760	22,456	85,421
合 計				113,219	111,700	121,000	107,290	106,890	335,180
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	4,331	4,447				
		嘱 託 員	千円	0	0				
		臨時職員	千円	0	0				
		合 計		4,331	4,447				

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ スポーツレクリエーションの振興と冬季観光客の拡大及びカルルス地区の活性化を図るため、市が実施することは妥当。また、これまでの経緯から、他に事業主体となるところが無い。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 道内外からスキー修学旅行、また、特に雪が降らない台湾の観光客誘客施設として有効であるため、これに伴う地域の経済効果は非常に大きい。しかし、スキー人口の減少により、利用客が年々減少している
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？向上させることができない理由は何ですか？ 天候等により開業日数・入り込みに影響を受けるが、スキー修旅の営業を行うとともに、委託先の親会社である加森観光と連携したPR活動を継続していく。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？削減できない理由は何ですか？ 施設の老朽化に伴う、修繕が必要であることからコスト削減は難しい。また、施設の老朽化が著しいことから、増加することも想定される。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	スポーツレクリエーションの振興と冬季観光客の拡大及びカルルス地区の活性化を図るため、また、利用者にカルルス温泉サンライバスキー場を安全かつ快適に利用していただくために、事業を維持する。
----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）